



## 「受け継がれるバトン」

校長 小林達也

早いもので暦はもう3月。今月は令和6年度最後の月ですが、子ども達が登校するのはあと15日間（6年生は13日間）になってしまいました。4月に新しい学年に進級した子ども達はこの1年間で着実に成長し、1年前より遅くなりました。子ども達にはこの1年間を振り返りながら、自分の成長を確かめてほしいと思っています。

また、3月は6年生が小学校を卒業する月でもあります。「卒業式」は、教育課程を全て修了したことを認定しそのお祝いをする式典のことであり、式典で「卒業証書」を授与することから「卒業証書授与式」と呼ばれ、それが短縮されて「卒業式」と呼ばれるようになったようです。卒業生はこの卒業式に、6年間の思い出を胸に新しいステージへ夢と希望をもって旅立つことができるように真剣に参加してくれることと思います。在校生は卒業式前日のお別れ式で卒業生との最後の思い出を作ります。今まで何かと助けたり励ましたりしてくれた卒業生が旅立つ姿を見て、別れを惜しむとともに、自分達も頑張るぞという気持ちをもつことでしょう。こうして中原小学校のバトンは受け継がれていきます。

最後に、3月の行事「ひなまつり」のお話です。もともとは中国から伝わった節句が起源ですが、平安時代にワラや紙で作った人形を海や川に流して厄払いとする行事があり、ある頃からその行事を旧暦の3月3日に行うようになり、人形を美しく飾るように変化し、さらに女の子の大好きな人形遊び「ひいな遊び」とも重なり、江戸時代頃に「ひなまつり」として定着したそうです。桃の花が咲く季節の行事ということから、「桃の節句」とも言われています。今でも、子どもに災いが降りかからないようにという家族の願いや、人生の幸福が得られるようにという気持ちを込めて、ひな人形は飾られているのでしょう。

そして、ひな祭りと言えは雛あられを思い浮かべる方も多いと思いますが、雛あられにもお子様の健康を祈願するという意味が込められているそうです。雛あられは、基本的にピンク・黄・緑・白の4色で構成されることが多く、これは春夏秋冬の「四季」を意味しており、一年を通してお子様の健やかな成長を祈るという意味が込められています。給食で出る雛あられは3色ですので、白は雪の大地、緑は木々の芽吹き、そして赤は血と生命を表していて、大地・植物・生命のエネルギーを受け取れることを願っているそうです。ちなみに、給食の雛あられは人工着色料を使っておらず、白のあられにほうれん草・昆布・青のりを使って緑に、トマト・パプリカを使って赤に着色しています。健康で学校生活を送れるように願いながら、みんなでおいしくいただきたいと思います。

このように様々なことがある3月、職員一同力を合わせ子ども達の支援に引き続き力を入れて参りますので、保護者の皆様、地域の皆様には、これまで同様ご理解・ご協力をいただければ幸いです。そして、本年度、本校の学校教育にご理解・ご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様をはじめとする全ての方々に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

# 3月の行事予定

日	曜	行 事
1	土	
2	日	
3	月	朝読書 委員会(4年5年)
4	火	集会
5	水	
6	木	朝読書
7	金	なかはらタイム全学年
8	土	
9	日	
10	月	朝読書
11	火	朝会
12	水	
13	木	朝読書 卒業式予行
14	金	大掃除6年 テストメール配信日
15	土	
16	日	
17	月	朝読書 巡回カウンセラー
18	火	C4 お別れ式 給食終了 卒業式前日準備
19	水	卒業式 1～5年自宅学習日
20	木	春分の日
21	金	C4
22	土	
23	日	
24	月	C4 朝読書 大掃除1～5年 巡回カウンセラー
25	火	C4 修了式 離任式
26	水	学年末休業開始
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

3月の校庭開放日      11日   13日